

岐阜県立吉城高等学校

学 校 長 下平 貴昭

学校住所 飛騨市古川町上気多 1987-2 電話 0577-73-4555

- 1 会議の名称 岐阜県立吉城高等学校評議員会（第2回）
- 2 会議の構成
- | | | |
|------|-------|--------------|
| 評議員 | 井端 浩二 | 井端カメラ（今回は欠席） |
| | 春見 孝幸 | 卒業生の保護者 |
| | 澤 忠人 | 飛騨古川青年会議所理事長 |
| | 前川 文博 | （今回は欠席） |
| | 吉野 弘子 | 吉城福祉会評議員 |
| | | （委員名は五十音順） |
| 育友会長 | 清水 正義 | |
| 学 校 | 下平 貴昭 | 校長 |
| | 小栗 英幸 | 教頭 |
| | 白川 良文 | 事務長 |
| | 川上 斉 | 教務主任 |
| | 高ノ山裕一 | 生徒指導主事 |
| | 藤守 学 | 進路指導主事 |
- 3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援、協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成26年1月31日（金）14:00～16:00 吉城高等学校会議室
評議員3人、育友会長及び学校6人が出席
- 5 会議の概要

テーマ 今年度の取組と来年度の課題について

- 学 校 （資料にそって教務部、生徒指導部、進路指導部から今年度の取組と来年度の課題等について説明した。）
- 意見1 入学定員割れが続いているが、中学3年生の進学希望では普通科よりも職業科の方が多いのか。
- 学 校 そうではなく、高山市内の高校への進学希望者が多いのが現状である。地元中学生の希望者を増やすためにも、中学校と連携した活動や取組、行事などを積極的に実施している。また、今後の少子化への対応、対策が更に必要だと考えている。
- 意見2 今年度の取組の説明を聞き、いろいろと努力していることが分かる。授業を見学し、先生方がしっかりと指導していること、論文指導も、学校として取り組んでいることも分かった。大学進学を希望する生徒たちは塾にも通っているのか。
- 学 校 塾ではなく、本校教員の個人指導や放課後補習、吉城ゼミ（代ゼミのビデオ視聴）などを受けている。

- 意見3 大学進学のための塾はないのか。塾そのものが少なくなっているとは聞くが。
- 学 校 この地域には、学校の授業の補習的な個人塾はあり、そこへ通っている生徒はいると聞くが、大学進学のための塾は、聞かない。
- 意見4 挨拶をしない生徒が多い、とのことだが、毎朝、私の出勤時に挨拶をしてくれる吉城高校生がいる。知っていてほしい。
登校時の自転車事故とは、こういった内容か。
- 学 校 道路を斜めに横断し後方からの自動車と接触したなど、大事には至らなかったものの、登校時に数件の事故があった。
今年度までは、全職員に割り当てて週に一度、登校時に交通指導を実施してきたが、下校時の指導は年に数回しか実施してこなかった。来年度は、下校時の交通指導、生活指導にも力を入れて実施する予定である。
- 意見5 卒業式の国歌、式歌、校歌の伴奏は、今年度も吹奏楽か。
- 学 校 今年度の国歌等、歌の伴奏はピアノ演奏である。
なお、卒業生の入退場は、例年どおり吹奏楽による演奏である。
- 意見6 私は本校サッカー部のOBであり、今年度の地区総体優勝は大変うれしい。
また、元気のある授業を見せてもらった。人命救助の記事も読んだ。元気な生徒が多く、大変よい。
少子化への対策としては、例えば、理数科なら進学実績に特化すること、就職指導なら吉城高校は公務員に強いことなど、特色を打ち出せるとよい。地域との連携も重要である。
- 意見7 授業も学校生活も、一生懸命に指導していただいている。
また、新聞記事を見ていて、報道されることは、大変うれしい。
総合学科のように、高校入学後に幅広く進路を考えさせる指導は、興味深い。
- 意見8 育友会主催の進路フォーラムは、3年生とその保護者だけでなく、2年生や1年生、その保護者など、もっと多くの方に参加してもらい活発になってほしい。
- 学 校 卒業生への講師依頼なども含めて同窓会とも連携し、行事を盛り上げていきたい。

6 会議のまとめ 本校生徒の活躍をともに喜び、本校の悩みに対して建設的な意見をいただくなど、本校が地域の方々に常に見守っていただいていることを再確認できた。
今後とも、本校の取組や魅力を地域に対して発信していくことが重要であることを感じた。